

くつろぎ タイム

東邦メッキ株式会社
代表取締役社長
仙台商工会議所2号議員

しまだ ひろお
島田 博雄 氏

1950年生まれ
仙台市出身
血液型A型

学習院高等科を卒業後、学習院大学理学部へと進み、大学卒業後は東京のメッキ工場に就職。1年後に仙台に戻り、東邦メッキ(株)に入社。営業職から現場まで全ての仕事を経験し、平成6年社長に就任。明治17年創業の、当時では珍しい洋家具製造、島田製作所の4代目でもある。

「高校から親元を離れたので、一抹の寂しさはありましたが、友人に恵まれて、楽しい学校生活を送ることができました。福島の級友と一緒に帰省する途中、途中下車して、彼の家に泊めてもらったことなどを思い出します」と笑顔で話す。



仕事が終わった後の何もしない時間と、 タイの文化に触れることで、 リフレッシュしています。

日常の中で、「くつろぎ」を感じるのは、どんなときですか。

特に趣味らしい趣味をもっているわけではないので、家でのおんびりしているのが一番の「くつろぎタイム」ということになるでしょうか。家にいる時間が一番リラックスします。とは申しませんが、平日は朝から東邦メッキに行き、午後からは二日町にある島田製作所の店舗「ステージ」にいるのですが、この「ステージ」のすぐ上が住まいになっておりまして、自宅で仕事をすることも多いものですから、家でごろごろできるのは、仕事が終わった後、寝る前のちょっとした時間ということになります。しかし、いつの間にか、自宅で仕事をしなくても、オンとオフのスイッチの切り替えがうまくできるようになりました。もともと、私はどこでも眠ることができるタイ人なんです。時間があるときには、ケーブルテレビで放送している映画やスポーツ中継を見ることもありますが、途中で寝てしまったり週末がわからない...といったこともしばしば(笑)。これは寝付きの良い方からすると、とても幸せなことだと思います。

では、休日のお過ごしはいかがですか。

中学3年生になる末っ子が所属する野球チーム「東北リトルシニア」の練習や試合についていくのが休日の過ごし方になっています。事務局長を仰せつかっているものですから、毎週土曜と日曜は野球一色です。

ちなみに、このチームは、かつて東北大会で優勝したこともあるんですよ。

**お食事や運動など、健康管理で
気をつけていることはありますか。**

健康を気にして実践していることは、特にはありません。あまり体を動かしたりすることも好きではありませんし、食事面でも、特別、注意していることはないのです。強いていえば、ゴルフに行くくらいでしょうか。しかし、できるだけ歩いてラウンドすれば運動になるのでしょうが、私はすぐにカートに乗ってしまうので、ゴルフによる運動効果はあまり期待できないかもしれません(笑)。ただ、日常を離れた場所、仲間たちと同じ時間を共有するのは楽しいですね。私の場合、ゴルフは自分との戦いだと思っているので、一緒にラウンドする人のスコアは気にならないんです。だから、自分のスコアが悪くても、そんなにストレスを感じることはありません。もちろん、悪いよりは良い成績の方がうれしいですけどね。ゴルフは、コンペで知らない人と一緒に回ることもありませんが、プライベートで仲間とプレーするのも好きですし、その後の食事会や飲み会もとても楽しいですね。

それから、時間があるときは仙台駅から、店舗のある二日町まで歩くこともあります。商店街をブラブラしながら、30分から40分くらい歩いて歩くのですが、これが不思議と苦にならないんですね。それが運動といえば運動でしょうか。また、お酒だけは遺伝的に体質に合っ

**時間ができたら、やってみたく
と思っていることはありますか。**

何か家でできる趣味を見つけないかと思っているのですが、なかなか「これだ」というものに巡り会えずにいます。そういうものを見つけれればいいのですが、やってみたくてと言え、学生時代の仲間たちとの再会でしょうか。高校時代からの気の合う仲間たち10人くらいが、いまでも結構な頻度で飲み会を開いたり、旅行に行ったりしているようで、私にも誘いのメールをくれるんです。しかし、私はこれまで一度も参加できないでいるので、もう少しゆとりする時間がとれるようになったら、こうした集まりに、ぜひ参加してみたいと思っています。いまでも、このようなつながりがあるというのは、いいものですね。

最後に、お仕事の近況を教えてください。

2012年にタイに工場を設けまして、翌年の10月から稼働しています。会社設立準備で2012年の春から毎月のようにタイに行くようになりました。タイは一年を通して暖かい気候ですから、こちらが

冬するときに行くのはいいですね。先日訪れたときも、日本は3月ですが、気温が37度になった日もありました。プライベートでは、自ら進んで観光旅行には出かけない私ですが、日本からお客さまがタイを訪ねていらつしゃったときには、案内することもあります。

日本とはまったく異なる風土や文化がありますし、仕事を新しい地で行うというのは新鮮な気分になります。仕事ですから大変なこともあります。良い土地、良い人たちに会えて、これからの進展が楽しみです。現地では、お取引先も日系企業が多く、通訳もおりますので、タイ語がスラスラ話せなくても仕事に支障はないのですが、これを機に、タイ語を勉強してみるのがいいかもしれないと思っています。



今年3月に訪れたタイの古都「アユタヤ」で撮影した1枚。この菩提樹に取り込まれた仏さまよりも「高い位置に立ってはいけない」というただし書きに従い、しゃがんだ姿勢で記念の1枚をパチリ。

海

生命の母、たったひとつの『海』。

地球上のありとあらゆる生命の源、『海』。この、『母なる海』を、美しいままで未来へと残していかなくてはなりません。21世紀の子供たちも、今と同じようにこうして海で夏を過ごせるように。そう私たちは考えています。私たちは青葉環境保全です。

— より良い環境をめざす —

AOBA 青葉環境保全

本社/仙台市若林区蒲町19-1 電話 (022) 286-3161(代)